

相浦小学校高島分校 いじめ防止基本方針

【目指す子ども像】

たくましく かしく しんせつに まじめに

【育友会との連携】

懇談等様々な機会を利用して、児童のがんばりや長所、心配なことなどをこまめに保護者に連絡するなど、日ごろから保護者との信頼関係を築く。

【いじめ対策委員会】

校長、教頭、生活指導主任、養護教諭、担任等

※必要に応じて
スクールカウンセラー、
心の教室相談員等

【教育委員会】

○学校教育課
○青少年教育センター

【関係機関】

○子ども子育て応援センター
○子ども・女性・障害者支援センター
○警察
○民生児童委員・主任児童委員

【いじめの防止】

- (1) 保護者や地域との連携
- (2) 道徳教育の充実
- (3) 生徒指導の充実
- (4) 特別活動の充実
- (5) 児童生徒理解等校内研修の充実

いじめを生まない生き生きとした学校づくりに向け、校内の指導体制の確立、家庭・地域社会との連携強化、いじめの問題を自分たちの問題と捉えられる子どもの自己指導能力の育成を図る。

【早期発見】

日頃から児童の見守りや信頼関係の構築に努め、児童が示す変化や危険信号を見逃さないようアンテナを高く保つ。あわせて、児童生徒理解システムの効果的な活用を図るとともに、定期的なアンケート調査や教育相談の実施等により、児童がいじめを訴えやすい体制を整え、いじめの実態把握に取り組む。

ア 教職員による観察や情報交換

児童のささいな変化に気づいた場合、教職員がいつでも情報を共有するよう努める。また、「児童生徒理解支援システム」を効果的に活用する。

イ 定期的なアンケート調査や個人面談等の実施

児童の生活実態について、定期的なアンケート調査や個別面談、生活ノートの活用等、きめ細かな把握に努める。

ウ 教育相談体制の整備

校内に児童や保護者等の悩みを積極的に受け止めることができる教育相談体制を整備する。また、その充実に向け、市教育委員会と連携し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、学校内外の専門家の活用を図る。

エ 相談機関等の周知

学校以外の相談窓口について、周知や広報を継続して行う。

【いじめに対する措置】

- (1) 的確な情報収集
- (2) 基本的な緊急対応
- (3) 調査による実態把握
- (4) 解決に向けた指導・援助
- (5) 継続指導・経過観察
- (6) 再発防止

ア いかなる場合も真摯に受け止め、関係する友達や保護者からの情報収集を通じて、事実関係の把握を迅速かつ正確に行い、関係者全員でその解決に取り組む。

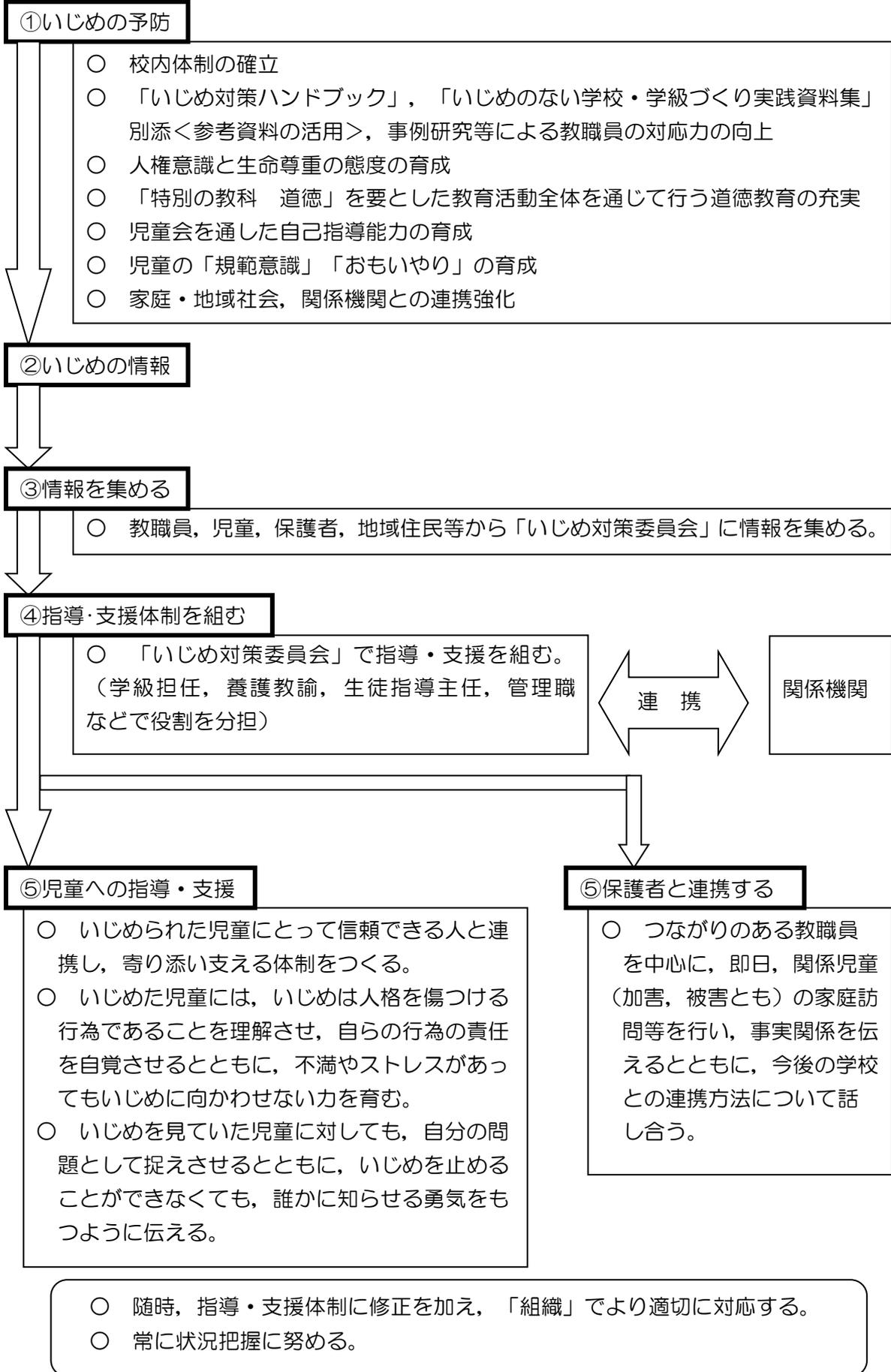
イ いじめられている側の保護者の心情を、教職員は同じ立場に立って受け止める。そして、いじめの問題を自らの課題として捉え、全教職員が緊密な情報交換や共通理解を図り、一致協力して事象に対応していることを保護者に伝え、信頼の回復に努める。

ウ 保護者には、随時入手した正確な情報や指導状況を伝え、学校の対応について理解してもらうとともに、学校に対しての安心感をもってもらうよう配慮する。

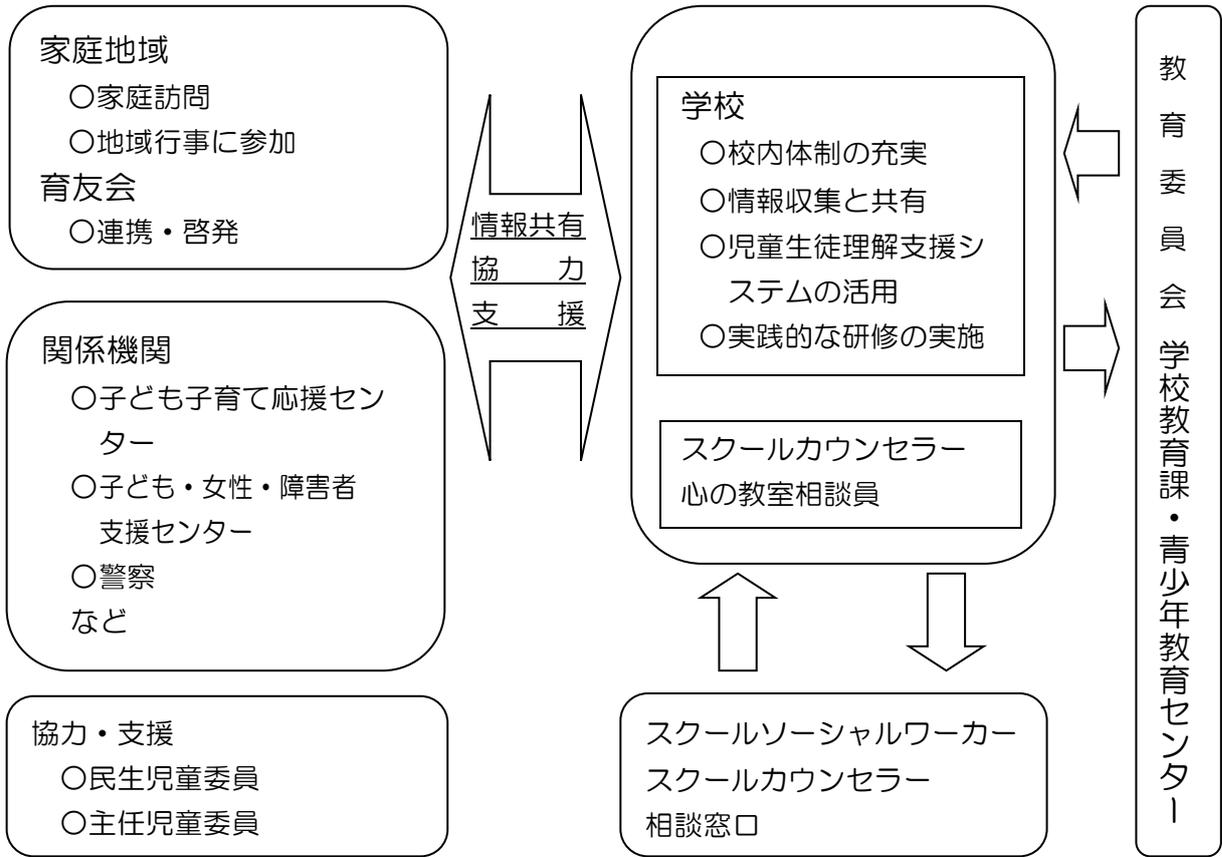
〔年間計画〕

4月	学校基本方針の確認・育友会総会での説明	*アンケートの実施
5月	学校いじめ対策委員会(1)	*児童による学級憲法作成
6月	いのちを見つめる強調月間	*児童による人権集会の企画運営
7月		
8月	校内研修会	
9月		
10月		
11月	教育相談・個別面談	
12月	人権集会	
1月		
2月	学校いじめ対策委員会(2)	
3月	取組評価アンケート	

〔組織的な対応イメージ〕



〔いじめ防止のための校内体制と関係機関との連携〕



命と人権を大切にする集団づくり